



# わらしべの里通信

## 2年に1度の仲間の役員選挙行われる



【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム混むがお伝えします】令和6年9月16日は、2年に1度行われる仲間の役員選挙でした。数年ぶりに立候補者による立ち会い演説会が行なわれたあと、仲間たち39名は投票しました。(期日前投票18名を含む)

### 新しい役員さんたち

開票作業がはじまり、会場にいる人は固唾を飲んで候補者名の横に「正」と書かれるのを見守っていました。そうして獲得した票が多い順から、会長・副会長・書記2名となりました。

### 役員の紹介

新会長は、11票獲得した通所歴17年目のHくん。元気いっぱい、わらしべの家でもグループホームでも楽しいおしゃべりをたくさんしてくれます。9票を獲得した新副会長は、通所歴14年目のTくん。心優しく人あたりもやわらかで、いつもニコニコしています。8票を獲得した新しい書記は通所歴29年目のRさん。何事にもやる気十分で、頼もしいお兄さんのような存在です。PC事業にて活躍中です。5票を獲得したもう1名の書記は、通所歴5年目のYくん。シャニーズの曲をよく聴き、自転車通所が得意でお母さん想いの方です。請負事業にて活躍中です。

当選者の挨拶は、9月17日のお昼の前に行われ新役員が揃って「2年間、よろしくお願ひします」と挨拶しました。



新役員の間たち



開票時の様子

任期は令和6年10月1日～  
令和8年9月30日です

## 先生の卵！大学生が介護等体験の実習に来ました！

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム混むがお伝えします】

令和6年9月9日、わらしべの家第1作業所に体育の先生を目指している大学生の姿がありました。介護等体験の実習は、小学校から高校までの教育職員免許取得希望者を対象とし、「個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識」を深めるために、特別支援学校で2日間・社会福祉施設で5日間の計7日間を行う実習です。

### 一期一会の気持ちを大切に

これまでわらしべの家には、何人もの先生の卵の大学生が実習に来てくれました。会えるのは、一生に一度かもしれないという「一期一会」の気持ちを大切に、それぞれの大学生たちと共に1週間という時間を過ごしました。みなさん、今頃は学校の先生になり、立派に活躍されているでしょうね。

### 卒業後は、学校の先生に…

### 応援しています!!

今年の介護等体験の大学生もこれまでと同じように、就労支援科目の請負事業・自主製品事業・PC事業の仲間たちと一緒に、見学・体験・ふれあいを通し、見聞を広げられて帰られました。仲間たちにとってもお姉さんとお話ができ、楽しい時間を過ごせたようです。

数年後には、学校の先生になっていてほしいですね！体育の先生としてがんばってくださいね！応援しています!!



先生の卵と一緒に

数年後には、学校の先生になっていてほしいですね！体育の先生としてがんばってくださいね！応援しています!!



# 「第3回かき氷を食べる会」が開催されました



「今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします」台風7号の影響により、台風一過となった令和6年8月17日。この日は、青空が広がりとても蒸し暑く、また気温も上がりまさに「かき氷日和」。涼しそうな服装で通所してきた仲間たち。平日と同じように朝礼後真剣に生産活動をはじめました。この日はさをり織りや、各種編集作業、部組み立て作業などの生産活動に大忙しでした。ちなみに令和6年4月1日からわらしべの家に通い続け、1日も休まず生産活動している仲間たちにとっては、この日が100日目の生産活動日でした。

**時計の針は10時30分！**

**「かき氷を食べる時間」に突入します**

集中していると、時計の針は10時30分になりました。栃木市内の氷問屋で、氷・シロップ



かき氷屋さんになが〜い行列



かき氷がおいしくて、思わず敬礼！



かき氷、甘くておいしかったね！

しく楽しく過ぎて、昼食を食べ終わった順から、自由解散となりました。支援員さんに毎回感謝です。「かき氷を食べる会」が終われば、季節は少しずつ初秋に移り、2年に1度の「仲間の会役員選挙」の時期となります。

プ・カップ等を購入し、氷を削る機械も借りられたので、身体の内側から涼しくなるように令和5年に続いて休憩時間からわらしべの家は「かき氷を食べる会」を開きました。

**手早く涼求め、かき氷！**

**まるで「しょう乳洞」の中に入ったような気分**

仲間たちは、目の前で施設長さん、相談支援員さんが「シュリ、シュリ、シュリ」と機械を使って氷を削る様子を見ていました。それだけで思わず、しょう乳洞の中に入ったような気分。粉雪になったかき氷に仲間たちは次々に一定の距離をとりながら、メロン・いちご・レモン・ブルーハワイ・ゼロコーラのなかから好みのシロップをかけてもらいました。それは夏にふさわしい光景でした。

**一足早く雪景色が広がった**

**気分になりました**

席でかき氷を食べると、脳裏に令和6年も一足早く雪景色が広がった気分になりました。僕は暑さより寒い方が苦手なのですが、こんなに猛暑日が続いているので、かき氷を食べる内側からひんやり冷やせると、とても心地よくなりました。みんなも何杯もおかわりをしていましたが、なかには5杯もおかわりをしている仲間もいました。みんな嬉しそうにやわらかな氷を食べ、幸せそうでした。僕はそのような光景を見て、何気ない日常の幸せを感じました。

**ランチは、「ミックスランチ」**

お昼は、同じ方向を向いて座り、栃木市内にあるお弁当屋さんで注文した「ミックスランチ」を食べました。楽しい夏の日はまだ



## ～七夕の願いごとを書ける幸せ～



願いごとを書いた短冊を結びつけているところ



おり姫さま・ひこ星さま、願いを叶えてください！



みんなの七夕さまへの願いごとに耳を傾けています

【今回の記事は、パソコン工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】七夕は1年に1度だけ「おりひめ」と「ひこぼし」が天の川の上でお会いになる日といわれ、この日にちなんで願い事を書いた短冊を笹の葉につるし、おりひめ星に上達を願うとされています。

**わらしべの家でも**

「七夕の会」を開きました

令和6年7月5日にわらしべの家でも「七夕の会」を開きました。仲間たちにはお菓子が配られて、日本栄養給食協会の方々がつくられたそうめんをいただきながら、支援員が読み上げるみんなのたなばた様への願いに耳を傾けていました。大昔から7月7日にそうめんを食べると病気になるという言い伝えがあるようで、私は「令和6年夏から、令和7年夏までみんながいきいきと働けるといいですね」と願いながら、そうめんを

すすっていました。

**仕事やコロナ収束後への願いごと**

短冊に書かれた願いを紹介します・・・。「さをり織りをがんばる」、「仲間のみんなでカラオケ大会がしたいです」、「マイメロディのボールペンのお仕事をがんばりたい。うさぎのマークに会いたい」、「健康第一」、「コロナが早く収束しますように」、「仕事を一生懸命がんばること」、「お仕事頑張りたい」と自分の仕事や新型コロナウイルス収束後への願いごと多数見受けられました。

おりひめさんとひこぼしさん、願い事を聞いてくれましたか？叶いますように・・・。



9月～10月の行事

いつも「わらしべの里通信」を読んでくれてありがとう!!

※毎月第3金曜日の給食の前に仲間の会主催の誕生会を行います  
※月の最終週の水曜日は、嘱託医のバイタルチェックです

30日	24日	18日	19日	10月の行事予定	30日	25日	20日	28日	16日	7日	9月の行事
嘱託医問診	栃障協スポーツ交流会	誕生会(2人)	土曜開所		健康診断	嘱託医問診	誕生会(1人)	(作業イベント)	土曜開所		

これからの行事予定

26日	21日	20日	15日	8日	日	3月の行事予定	26日	21日	15日	11日	2月の行事予定	29日	17日	25日	18日	11日	1月の行事予定	25日	20日	21日	14日	7日	12月の行事予定	27日	15日	23日	9日	11月の行事予定
嘱託医問診	誕生会(3人)	(作業イベント)	土曜開所	ひな祭り			嘱託医問診	誕生会(3人)	土曜開所	(豆まき)		嘱託医問診	誕生会(2人)	(作業イベント)	土曜開所		予防接種希望者	嘱託医問診	誕生会(1人)	(作業イベント)	土曜開所		嘱託医問診	誕生会(3人)	(作業イベント)	土曜開所		

今後の行事予定については、**新型コロナウイルスの感染状況**の動きを見て判断いたします。



日帰り旅行で「陸・海・空・宇宙」勢揃いのテーマパーク『ユメノバ』へ



【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】令和6年6月28日栃木市社会福祉協議会のマイクロボスとわらしべの里公用車2台に分乗し、わらしべの家で働いている仲間たちは、「陸・海・空・宇宙」勢揃いのテーマパークとして茨城県筑西市にオープンした『ユメノバ』に出かけました。わらしべの家は、新型コロナウイルス感染症防止のため、令和3年からグループごとの外出を続けてきましたが、令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことを受けて、この日が令和元年初以来5年ぶり14回目の日帰り旅行でした。

仲間たちは、

さまざまな乗り物を堪能

広大な敷地にスラリと並ぶのは、陸・海・空・宇宙の乗り物たち。今回はその数ある展示物の見学に傘をさしたり、雨カップを着て、グループごとに探索しました。受付をすますと、左奥に実物大の踏切が見え、「きっと列車が展示してあるのだろうなあ」と予測できました。50m進むと線路が見え、レールパークにきたことが分かりました。パーク内の線路には寝台特急「北斗星」、D51形蒸気機関車、上越新幹線などの鉄道車両12両が停まっています。北斗星には、レトロで懐かしい寝台車や食堂車など4両の客車を連結されています。スロープが設置されているので、車いすでも特急列車のすぐ近くにまで行くことができ、車体に触れることができます。車いすユーザーとしてとても嬉しく思いました。ありがとうございました。

日本の技術力と太平洋戦争に

思いを馳せて

いくつかのグループは、科博廣澤航空博物館へ向かいました。広い体育館のようなスペースに戦後初の国産航空機「YS-11」や昭和34年、南極大陸に取り残された2匹の兄弟犬、タロとジロを救出したヘリコプター「シコルスキーS58」があり、日本の技術を目の当たりにして誇りに感じました。ほかにも太平洋戦争で主力となった旧日本軍の「零式艦上戦闘機（ゼロ戦）」など、国立科学博物館の所蔵する歴史的価値のある航空機たちが並んでおり、先の大戦でたくさんの方々が亡くなられたこと、その方々の犠牲の上に今の私たちの生活が成り立っていることを実感しました。

「バナナ園」を見学

受付を出て右奥に「バナナ園」もあり、熱帯雨林のような温度で管理されていました。木に実っているバナナは、食卓にある黄色いものではなく、まだ熟していない緑のバナナだったので仲間たちは驚いていました。



「北斗星」に乗っています！



みんなで国内旅行に出発～！



ヘリコプターの前でみんな笑顔！

5年ぶりに対面形式を取り入れ、

昼食を全員で

童心に戻って約1時間の見学を終え、「おなかすいた」という声も聞こえるようになったので、道の駅グランテラス筑西へ。多目的室をお借りし、5年ぶりに対面形式を取り入れ、昼食に鶏のから揚げ弁当を食べました。

「おやつは、別腹」アイスや

スイカのスムージーもおなかへ

丸く大きなから揚げに仲間たちは満足したようですが「おやつは、別腹」とよく聴きませぬ。14時過ぎまで、その言葉のとおり多目的室からおいしそうなアイスやスイカのスムージーを食べに行ったり、お土産を買ったりしてのんびりゆっくり時間を過ごせました。

わらしべの家到着後、思い出を胸にしまい元氣よく仲間たちは16時に帰宅しました。コロナ禍にわらしべの家に入った仲間は、「さよなら。日帰り旅行O(マル)だったね。楽しかったね」と満面の笑顔でした。

# みんなの金坂直仁さんとのお別れ会



仲間たちからの寄せ書きときれいな花々



祭壇の前に集う仲間たち



今までありがとうございました



長い間、お世話になりました

これから、みんながいきいきと働けるわらしべの里に通えるあいだは、私たちは働かせていただきます。空から見守ってくださいね。長い間ありがとうございました。

【今回の記事は、パソコン房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】わらしべの里創業者であり、前理事長である金坂直仁さんは令和6年（2024年）3月21日に逝去されました。89年の生涯でした。訃報がわらしべの里から3月22日朝に伝えられると、わらしべの家の仲間、支援員、保護者が週末を利用し葬祭場での弔問に訪れ、今までお世話になったお礼を伝えていました。葬儀・告別式は3月25日にしめやかに行われ、栃木市の障がい者福祉に携わっている方たちが参列され、別れを惜しまれました。

## 仲間たちのお別れ会開かれる

金坂さんは、財団法人時代から生産活動をしてきた仲間や保護者から親しみを込めておじさんと慕われていました。仲間たちは、金坂さんを慕い居場所を見つげるために集まってきたのかもしれない。「葬式はしなくていい。仲間たちのお別れ会を」と希望されていたようで、仲間たちのお別れ会が6月7日午前10時から食堂兼集会場で行われまし

## 最後まで、福祉のこころを

### 忘れない方でした

仲間たちからの寄せ書きときれいな花々にかこまれて、遺影の中の金坂さんは優しく笑んでくれていました。仲間たちは、坂本九さんの「上を向いて歩こう」がBGMとして流れる中、祭壇に1本ずつ花を手向け、お別れをしました。遺影から、仲間や支援員ひとりひとりにメッセージを語りかけているようでした。

## 最後まで優しいお気持ちで、

### 最後のご奉公

金坂さんは生前から仲間たちと保護者を前

にすると「私が亡くなった後、この身体を生きた方が知識を深めるために献体として提供したい。最後のご奉公だよ」と話されていた。献体とは自分の身体を死後、医学・歯学の大学で行われる解剖学実習に無償で提供することを指します。葬儀後近隣の大学病院に預けられた遺体は、医師や看護師を目指す学生たちが全身を詳細に観察し、解剖されるので遺族のもとには令和7年秋にお骨となってお帰りになるそうです。

## これからも私たちを

### 見守ってください

最後は、遺影の周りに参加者たちが集まり、記念撮影をして別れを惜しみました。金坂直仁さんは財団法人わらしべの里から社会福祉法人わらしべの里へ変わる平成13年（2001年）に「わらしべの里は個人が作った障がい者施設から、社会に認められた障がい者施設となる。自らの手の中から離れてしまうような寂しさもあるけれど、社会のものになり、役立つのであれば、それはうれしいことだ」と話されていました。



## - 相談支援事業所わらしべの家 -



相談支援専門員との面談風景

※相談支援事業とは、障がいのある方やその家族から相談を受けて、福祉サービスを受けるための手続きを行ったり、様々な福祉サービスの情報を提供したり、助言を行ったりする障がい福祉サービス事業です。また、必要に応じて自治体（行政機関）や、障がい福祉サービス事業所、病院等と話し合いを行うこともあります。

- 施設名  
相談支援事業所  
わらしべの家
- 実施事業  
指定特定相談支援事業
- 職員数  
管理者1名  
相談支援専門員1名

## 佐藤さんに「福祉功労者表彰」が授与される



平成19年9月 なかがわ水遊園にて

【今回の記事は、パソ工房所属の間・ペンネーム：混むがお伝えします】  
平成19年（2007年）6月から、わらしべの里に勤務している佐藤崇裕さんが勤続16年を評価され、栃木市福祉協議会より、令和6年3月14日午後「福祉功労者等表彰」を受けました。  
**勤続16年おめでとうございます**  
これは、栃木市社会福祉協議会より、多年にわたり地域福祉に携わってきたことへの功績に対して授与されたものです。思い返せば佐藤さんと出会ったのは、僕が30歳の時で16年もパソ工房と一緒に生産活動をしています。パソ工房の主力製品である封筒印刷、名刺印刷、ホームページ更新が重なった時も表情一つ変えずに、僕らに指示を出してくださり、製品を納められることができました。佐藤さんといえば、相手が話しやすい雰囲気を作るのがうまく、謙虚なアドバイスと仲間たちに優しく寄り添っている姿が印象的な支援員さんです。「給料



令和6年3月 わらしべの家にて

の半分は、人間関係をうまく回すために支払われているんだよ」とよく話され、年上の僕も非常に勉強になっています。そんなこともあり、平成26年（2014年）からわらしべの家パソ工房の支援員を努められながらサービス管理責任者、令和元年（2019年）からは第1作業所主任支援員も兼務されて忙しい日々を送られています。今回の受賞にも佐藤さんは「みんなと一緒にだったから、勤務を続けることができたんだよ」と言い、みんなと一緒に写真におさまりました。



## わらしべの家第1作業所、外壁塗り替え工事を行いました



外壁塗装工事後のわらしべの家【令和6年7月撮影】

建物を囲っていた足場が取れた5月24日、第2作業所の仲間にも塗り替えられた作業所がお披露目されました。仲間たちは、「まるで新しくなったみたい！ありがとうございます」と大喜びでした。

全体を淡い緑色に雨天を除いて8週間をかけて塗り替えられました。

【今回の記事は、パソ工房所属の仲間・ペンネーム：混むがお伝えします】  
混むは、平成8年（1996年）4月より、わらしべの家第1作業所で28年働いています。金坂直仁さんや諸先輩方にお目にかかったのもこの建物でした。それから四半世紀が経ち、わらしべの家第1作業所は建てられてから40年が経過しています。外壁の痛みもあることからこのほど防水塗膜工事と外壁塗装工事を行いました。

**イメージカラーのグリーンに**  
3月中旬から第1作業所の屋上にある小屋に防水塗膜工事と外壁塗装工事を施しました。そして4月4日から始まった第1作業所への塗装工事。建物を高圧洗浄し、長い年月で染みついた汚れを落とすした後、窓サッシに防水加工が行われました。

建物の東側からはじまった全体の養生、下塗り、中塗り、上塗り、さび止め塗装と段階を経て施工された色は、塗装業者さんの提案で軒天を濃い緑色に、建物



## グループホームに新しい仲間が増えました



みんなで、ハイ！チーズ！！



よろしくね！



おいしそうなホットケーキですね♡♪

令和6年6月中旬から、ホームに新たな仲間が増えました。歓迎会として、ホットケーキパーティーを開催しました！初めて自分でホットケーキを焼く仲間はドキドキしながらホットプレートに生地を乗せていました。焼けた後は、生クリームやアイス・サクランボなど自分で好きなデコレーションをして満足気な様子でした！

わらしべのグループホームでは、時折〇〇パーティーや夏場は花火、そして誕生会など、仲間の皆さんが楽しめる行事を行っています！  
これからも皆さんに「毎日楽しいよ！」と言ってもらえるような運営を行っていきます。「仲間の皆さん次回の企画も楽しみにしてくださいね♪」  
文責：施設長 金坂 尚慶



＊ ＊ ＊ 日 中 一 時 支 援 事 業 ＊ ＊ ＊



タブレットでお気に入りの動画を見えています



わらしべの家での日中一時支援事業は、主に2名の利用者さんが朝8時～9時までの時間を利用しています。8時半頃から利用者さんたちが通所し始め、9時から朝礼が始まります。それまでは、思い思いに好きなことをしながら過ごしています。持参したお茶を飲み、CDで好きな音楽を聴き、ぬり絵を楽しみ、パズルで遊んだり：毎朝、決まった日課を過ごし、それぞれに朝礼までの楽しい朝の時間を過ごしています。

日中一時支援事業の利用希望がありましたら、市役所から「日中一時支援事業利用者証」の交付を受け、わらしべの家と利用契約を結んでください。

また、契約後に利用を希望する場合には、事業の空きを確認する必要がありますので、事前にご相談ください。

職員の動き

令和5年 グループホーム 世話人：南洋子さん、世話人兼看護師：大橋 曜子さん

令和6年1月 支援員：石上鮎実さん

4月 グループホーム 世話人：早乙女和子さん、林のり子さん、別井典子さん

9月 支援員：稲垣理英さん

それぞれ採用となりました

松本主任 : 第2作業所とグループホームの兼務

佐久間支援員：第2作業所と庶務係の兼務 となりました

◎これまで以上に良い支援ができるよう、職員一同がんばります！



社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第60号(通巻74号)

※ 財団法人時代から数えて第74号となります

発行元 社会福祉法人わらしべの里

発行責任者 大橋 誠

〒328-0011 栃木市大宮町2708-3

電話 0282-27-1627

Fax 0282-27-1675

E-mail warashibenosato@cc9.ne.jp (事務所)

<https://www.warashibenosato.com>

わらしべの里

検索

～ 編集後記 ～

今年の夏も、この先「どうにか」なってしまうのではないかと感じるほどの猛暑日と雷雨が隣り合わせの夏でした。仲間たちは日々の生産活動のほかに、最新号に記事として掲載していますが、6月に令和元年秋以来となる日帰り旅行へ出かけたり、台風一過となった8月のある土曜日にかき氷を食べたり、楽しく過ごせました。支援員さんのサポートに感謝しています。暑くて長い夏が終わり、ようやく秋になりました。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、22時に夢の中にいられるようにしたいです。みなさまもお身体にお気を付けてください。(混む)